

全経 1 級 会計 有価証券 (第 3 問類題)

問題

当社（決算日 3 月 31 日）は、下記資料の有価証券を所有している。次の 1.~3.の有価証券に対して、決算整理仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も正しいと思われるものを選ぶこと。

| | | | |
|----------|----------|--------------|----------|
| 売買目的有価証券 | 満期保有目的債券 | 子会社株式 | その他有価証券 |
| 有価証券運用損益 | 有価証券利息 | 未収有価証券利息 | 子会社株式評価損 |
| 繰延税金資産 | 繰延税金負債 | その他有価証券評価差額金 | |

1. 当社は当期 7 月 1 日に、(株)大阪会社が発行した額面 ¥1,500,000、償還期限 5 年、契約利率 2%、(利払日は 12 月末と 6 月末の年 2 回) の社債を発行と同時に ¥100 円につき ¥97.80 で取得し、満期まで保有する意図をもって所有している。また、取得価額と債券金額(額面)との差額は、すべて金利の調整分である。当該社債に関して必要な整理を行うと同時に、契約利息に必要な処理(見越し処理)を行う。なお、当該社債の評価は、償却原価法(定額法)による。

2. 当社は、次の銘柄の株式を支配的目的で所有している。これらの銘柄の会社は、いずれも子会社である。なお、弥生(株)株式会社においては、時価の回復する見込みはないものとする。

| 銘柄 | 保有株数 | 1 株当たり取得原価 | 1 株当たり期末時価 |
|-----------|---------|------------|------------|
| 弥生(株)株式会社 | 1,000 株 | ¥3,000 | ¥1,200 |
| 奉行(株)株式会社 | 5,000 株 | ¥3,800 | ¥7,000 |

3. 当社は、次の銘柄の株式を取引関係の都合により保有し、その他有価証券として分類しており。会計処理は全部純資産直入法を採用する。なお、実効税率は 30%として税効果会計を適用し、繰延税金資産と繰延税金負債が発生する場合は相殺すること。

| 銘柄 | 保有株数 | 1株当たり取得原価 | 1株当たり期末時価 |
|---------|--------|-----------|-----------|
| やよ(株)株式 | 2,000株 | ¥2,000 | ¥1,600 |
| OB(株)株式 | 3,000株 | ¥4,000 | ¥4,100 |

答案用紙

| | 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|----|------|----|------|----|
| 1. | | | | |
| 2. | | | | |
| 3. | | | | |

● 解答

| | 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|----|------------------------|--------------------|---------|-----------|
| 1. | 満期保有目的債券 未収有価証券利息 | 4,950 7,500 | 有価証券利息 | 12,450 |
| 2. | 子会社株式評価損 | 1,800,000 | 子会社株式 | 1,800,000 |
| 3. | 繰延税金資産 その他有価証券評価差額金 | 150,000 350,000 | その他有価証券 | 500,000 |